

まちなかの未来を考えるワークショップ、
進んでいます。



まちなかの「人の流れ」や「たまり場」について、議論しました。

市では昨年12月より、本庄駅北口周辺のまちなかの「これから」を見据えた、市民ワークショップを開催しています。駅前をより良い空間にするだけでなく、住みやすく、賑わいあふれるまちなかを目指すため、様々な世代が集まって意見交換しています。

第2回では、前回出された意見を踏まえて、「人の流れ（空間どうしをつなぐ道）」や「滞留空間（生活・活動が行われる場所）」といった、まちなかの「インフラ」がどうあるべきか、について議論しました。班ごとに多彩な意見が挙がり、「どんなまちにしたいか」が少し見えてきたのではないのでしょうか。



ワークショップの予定

ワークショップは全3回開催します。多様なテーマについて議論し、まちなかの将来像を見据えていきます。

第1回
12/15

第1回
駅北口周辺の強みと弱みを見つけよう！

本庄駅北口周辺地区の強み（地区の魅力、地域資源）や、弱み（地区の課題、必要なもの）について、意見交換を行いました。

第2回
01/26

第2回
駅北口周辺の未来と方向性を描こう！！

まちなかに賑わいを生むような人の流れや、滞留空間のあり方について、意見交換を行いました。

第3回
02/16

第3回
見えてきた方向性を議論しよう！！！！

これまでの意見交換を踏まえ、北口で取り組むべきことや、地区の将来像について、意見交換を行います。

第2回ワークショップの振り返り

プログラム

1

あなたが普段よく使う・通る道はどこですか？

徒歩、自家用車、バスやタクシー、自転車などの手段別に、参加者が普段よく使う・通る道を地図に書き込み、重ね合わせてみました。

その結果、多くの人がよく使う道や、意外と知られていない使い勝手の良い道が見つかりました。また、ほとんど車でしか移動しない人や、逆に車をほとんど使わない人もいました。



プログラム

2

本庄駅北口周辺地区の人の流れ・滞留空間について議論しよう！

今回は参加者に、本庄駅北口周辺の「人の流れ」「滞留空間」のあり方について、意見を自由に書き出して頂きました。その後、書き出した付箋を地図上に並べ、どのような意見が挙がったかをグループで共有しました。

「駅前やまちなかでは歩いて暮らすべき」といった、歩行者を重んじる意見もあれば、「時間をつぶす場所がない」といった、駅前の滞在に関する課題もありました。

挙がった意見の一例

人の流れ

- まちなかの道は歩いてもらうべき
- 学生の通学路に歩道を確保しないと危ない
- 狭い道路を改善した方が良い
- 群馬県からの駅利用者の目を引く要素が欲しい

滞留空間

- 駅前にカフェや広場が欲しい
- 公園が必要。子どもと遊ぶには広い方が良い
- 手軽に使える自由な空間を増やす
- はにぼんプラザや煉瓦倉庫の使い方が分からない



プログラム

3

グループ発表

グループごとに人の流れ・滞留空間について議論した後、その内容を各グループの代表者が発表しました。

成果は班ごとに色が出ており、まちなかを歩いて暮らす場所として重んじるものもあれば、地区の東西でエリアの位置づけを変えるべき、といった提案もありました。

第2回の成果を踏まえ、第3回では駅北口周辺の将来像を描くワークを行いました。ワークの結果は、次号のニュースレターでご案内します。



ワークショップに関するお問合せはこちら

本庄市都市整備部 都市計画課 市街地整備係

●TEL: 0495-25-1138 ●FAX: 0495-24-0242 ●E-mail: tosikei@city.honjo.lg.jp